



2. 経費支出概要書（経費内訳）

北大阪商工会議所

（単位：円）

（1）経営相談支援事業

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	360	9,000,000		372	9,300,000		300,000	
支援機関等へのつなぎ	42	420,000		43	430,000		10,000	
金融支援（紹介型）	50	1,500,000		50	1,500,000		0	
金融支援（経営指導型）	85	3,400,000		85	3,400,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	1	20,000		1	20,000		0	
資金繰り計画作成支援	1	20,000		1	20,000		0	
記帳支援	9	225,000		9	225,000		0	
労務支援	15	300,000		15	300,000		0	
人材育成計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
マーケティング力向上支援	15	300,000		15	300,000		0	
販路開拓支援	30	600,000		30	600,000		0	
事業計画作成支援	156	7,800,000		190	9,500,000		1,700,000	
創業支援	20	400,000		20	400,000		0	
事業継続計画（BCP）作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	3	60,000		3	60,000		0	
財務分析支援	5	50,000		5	50,000		0	
5S支援	5	50,000		5	50,000		0	
IT化支援	20	400,000		20	400,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	40	800,000		40	800,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	70	350,000		70	350,000		0	
結果報告	360	3,600,000		372	3,720,000		120,000	
小 計	—	29,595,000	29,557,107	—	31,725,000	31,683,157	2,130,000	2,126,050

（2）専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	86	2,064,000		86	2,064,000		0	
法律相談	36	864,000		36	864,000		0	
税務支援	70	1,680,000		70	1,680,000		0	
労務士支援	24	576,000		24	576,000		0	
経営一般支援	60	1,440,000		60	1,440,000		0	
知的財産支援	12	288,000		12	288,000		0	
マーケティング支援	30	720,000		30	720,000		0	
その他	130	3,120,000		130	3,120,000		0	
小 計	—	10,752,000	10,752,000	—	10,752,000	10,752,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

（3）地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	19,850,518	別紙事業調書【変更後】のとおり	17,724,468		▲ 2,126,050

（4）商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	782,750	別紙事業調書【変更後】のとおり	782,750		0

（5）合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		60,942,375		60,942,375		0

事業名		大阪府東部地区商工会議所リサイクル技術委員会		新規/継続	継続
想定する実施期間		S57 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪東部地区商工会議所の合同により、廃棄物・排水等の減量化・再利用等をはじめ、企業のあらゆる環境問題に対しての相談事業、及び、環境保全に先進的に取り組む企業への視察研修会を実施することにより、資源の有効利用・環境保全を支援し、企業の業務改善、コスト削減、環境分野への新規ビジネス参入につなげる。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府東部地区商工会議所管内(枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、大東市、東大阪市、八尾市、松原市)における、製造業・建築業・サービス業者等の中小企業			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	廃棄物削減・リサイクル推進、環境ISOの取得等、中小企業の環境への意識が高まる中、企業PR、業務の効率化、コスト削減、環境ビジネスへの参入等につながる取り組みのニーズは、取引先からの要請を含め、高いものがある。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リサイクル技術相談会 2019年度実績 6月:有機化学工業製品製造業 北大阪、6月:塗装業 東大阪 8月:金型メンテナンス業 八尾、11月 電機部品挽物製造業 守口門真</li> <li>●環境保全優良企業視察 2019年度実績 住友電気工業株式会社大阪製作所 2019年12月11日(水) 参加企業・団体:29社</li> </ul>			
	反省点	指導実施事業所の環境改善活動の取組状況についての継続的な把握、また、地域内や同業者に共通するリサイクル問題への情報収集と対応について改善の必要がある。また、相談内容が複雑化してきているため、各商工会議所年1社とし、重点的に支援する必要がある。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	●リサイクル技術相談会 専門家により構成されたリサイクル技術委員による事業所指導を実施。 年間6社(6商工会議所×1社)リサイクル技術委員複数名の事業所訪問による技術指導および調査アンケートの実施。廃棄物削減・リサイクル問題・省エネへの相談対応。			
	○ 人材交流型				
	販路開拓型	●環境保全優良企業視察 循環型社会を推進すべく、環境問題に先進的に取り組む企業への視察・セミナーを開催 年間1回(訪問先の受け入れ可能人数による)。			
	ハンズオン型				
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input checked="" type="checkbox"/> (a)府施策連携 <input type="checkbox"/> (b)広域連携 <input type="checkbox"/> (c)市町村連携 <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 大阪府東部地区商工会議所の合同により開催。近隣地域で連携することにより、環境問題への支援を促進する。北大阪商工会議所が主となり、他所との連絡調整を図る。				
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	各商工会議所につき、年間1社。		
	支援対象企業の変化	6 社			
	指標	相談企業数	数値目標	6	
その他目標値	目標値の内容→	環境問題に先進的に取り組む企業への視察・セミナーを通じて、自社の取り組みに活用できる技術情報収集・意見交換を行う。			
	36 社				
	サービス単価		支援企業数	係数	標準事業費

算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	40,400 円 ×	6	×	1.00	=	242,400 円	
			20,200 円 ×	36	×	1.00	=	727,200 円	
					×		=		
								(小計) 969,600 円	
								※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) 円	
								計 969,600 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)								
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等				
		②受益者負担	108,000 円		負担金の積算	@3000 × 36			
		(a)府施策連携	○	(b)広域連携	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果			
標準事業費			補助率	(①市町村等+②受益者負担)					
969,600 円 ×		0.75	=	727,200 円	(	108,000 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割(配分の考え方)					
	○	北大阪商工会議所	141,400 円	全体幹事・視察研修会取りまとめ分として、30,300円を北大阪と八尾に加算。					
		守口門真商工会議所	111,100 円						
		大東商工会議所	111,100 円						
		東大阪商工会議所	111,100 円						
		八尾商工会議所	141,400 円						
		松原商工会議所	111,100 円						

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		大阪府東部地区商工会議所リサイクル技術委員会		新規/継続	継続
想定する実施期間		S57 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪東部地区商工会議所の合同により、廃棄物・排水等の減量化・再利用等をはじめ、企業のあらゆる環境問題に対しての相談事業、及び、環境保全に先進的に取り組む企業への視察研修会を実施することにより、資源の有効利用・環境保全を支援し、企業の業務改善、コスト削減、環境分野への新規ビジネス参入につなげる。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府東部地区商工会議所管内(枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、大東市、東大阪市、八尾市、松原市)における、製造業・建築業・サービス業者等の中小企業			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	廃棄物削減・リサイクル推進、環境ISOの取得等、中小企業の環境への意識が高まる中、企業PR、業務の効率化、コスト削減、環境ビジネスへの参入等につながる取り組みのニーズは、取引先からの要請を含め、高いものがある。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リサイクル技術相談会 2019年度実績 6月:有機化学工業製品製造業 北大阪、6月:塗装業 東大阪 8月:金型メンテナンス業 八尾、11月 電機部品挽物製造業 守口門真</li> <li>●環境保全優良企業視察 2019年度実績 住友電気工業株式会社大阪製作所 2019年12月11日(水) 参加企業・団体:29社</li> </ul>			
	反省点	指導実施事業所の環境改善活動の取組状況についての継続的な把握、また、地域内や同業者に共通するリサイクル問題への情報収集と対応について改善の必要がある。また、相談内容が複雑化してきているため、各商工会議所年1社とし、重点的に支援する必要がある。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	●リサイクル技術相談会 専門家により構成されたリサイクル技術委員による事業所指導を実施。 年間6社(6商工会議所×1社)リサイクル技術委員複数名の事業所訪問による技術指導および調査アンケートの実施。廃棄物削減・リサイクル問題・省エネへの相談対応。			
	○ 人材交流型				
	販路開拓型	●環境保全優良企業視察は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	ハズオン型				
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a)府施策連携 <input checked="" type="checkbox"/> (b)広域連携 <input type="checkbox"/> (c)市町村連携 <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 大阪府東部地区商工会議所の合同により開催。近隣地域で連携することにより、環境問題への支援を促進する。北大阪商工会議所が主となり、他所との連絡調整を図る。				
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	各商工会議所につき、年間1社。		
	支援対象企業の変化	6 社			
	指標	相談企業数	数値目標	6	
その他目標値	目標値の内容→	環境問題に先進的に取り組む企業への視察・セミナーを通じて、自社の取り組みに活用できる技術情報収集・意見交換を行う。			
	36 社				
	サービス単価		支援企業数	係数	標準事業費

算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	40,400	円 ×	6	×	1.00	=	242,400	円		
				円 ×		×	1.00	=		円		
				円 ×		×		=		円		
									(小計)	242,400	円	
										※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)	円	
										計	242,400	円
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)											
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等							
		②受益者負担		円	負担金の積算							
		(a)府施策連携	○	(b)広域連携	(c)市町村連携	(d)相談事業相乗効果						
標準事業費		補助率			(①市町村等+②受益者負担)							
242,400		円 ×	0.75	=	181,800	円	(円)					
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)							
	○	北大阪商工会議所	35,350	円								
		守口門真商工会議所	27,775	円								
		大東商工会議所	27,775	円								
		東大阪商工会議所	27,775	円								
		八尾商工会議所	35,350	円								
		松原商工会議所	27,775	円								

【備考】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境保全優良企業視察を中止したため。  
 環境保全有料企業視察参加予定の36社を支援できず、環境保全優良企業視察にかかった経費  
 北大阪商工会議所 0円、八尾商工会議所 0円、東大阪商工会議所 0円、守口門真商工会議所0円、大東商工会議所 0円  
 松原商工会議所 0円

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

北大阪商工会議所

事業名

大阪府東部地区商工会議所リサイクル技術委員会

計画に対する  
実績（数値）

支援企業  
数(計画)

6

支援企業  
数(実績)

支援  
実績率

【参考】  
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境保全優良企業視察を中止したため。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】

環境保全優良企業視察にかかった経費

北大阪商工会議所 0円

八尾商工会議所 0円

東大阪商工会議所 0円

守口門真商工会議所 0円

大東商工会議所 0円

松原商工会議所 0円

事業名		地元の魅力を再発見！枚方宿名物イベント再活性化事業	新規/継続	新規
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで	一複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	京阪電車枚方市駅から枚方公園駅の枚方宿歴史街道において、地元の商工業者を中心に枚方市、金融機関等にて実行委員会を組織し、「枚方宿五六市」というこだわりの商品を集めた手作り市を平成19年3月より毎月第2日曜日に開催している。新型コロナウイルス感染症流行以前は、約200店舗が出店し、最大で2万人の来場者がある市内外からの知名度の高いイベントであった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月より開催を見合わせていた。10月より感染症対策を行った上で開催しているが、対策上、通常時の半数の約100店舗での出店を余儀なくされている。出店希望者が多く、出店数を従来の200店舗に回復させたいと考えているが、出店者および来場者への感染症防止対策の徹底が求められているため、出店者のコスト増加が課題となっている。 そこで当所として、大阪府で制定された「感染拡大防止に向けた取組み」に基づき、①イベントの開催における感染症防止対策のPR、②出店支援および出店者への感染症対策および販路開拓支援を実施することで、早期での出店者の収益性の回復を図り、ひいては、同地域の再活性化を図りたい。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	同イベントへの出店を希望している大阪府内の事業者		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	出店者に対する新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められており、出店コストが増加している。新型コロナウイルス感染症に対応するための、具体的な対策の支援を行うことは、事業者が求めていることであるため、ニーズが高いと考えられる。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値			
	反省点			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	令和3年1月～3月の3ヶ月間の計3回、事業者の出店支援と新型コロナウイルス対策支援を行う。 ●五六市実施スケジュール（毎月第2日曜日の10：00～16：00） ●開催場所 京阪電車枚方市駅～枚方公園駅間の歴史街道沿い ●支援出店者数（実行委員会よりエリア指定） 令和3年 1月10日（日）27店舗 2月14日（日）27店舗 3月14日（日）26店舗  ●具体的な手法 ①五六市のコンセプトに適合した出店者を実行委員会と協議の上、選定。 ②新型コロナウイルス感染症対策について、出店者へ事前告知を実施。 ③事業者に対して出店支援を実施。 ・効果的なブースのレイアウトや商品配置の支援 ・当該エリアへ集客するための来場者への商品のPRなど呼びかけ ・必要に応じて、価格設定方法や在庫管理についても支援 ④当日のコロナウイルス感染症対策を実施。 ・大阪コロナ追跡システムの登録の推進 ・指定エリア内にて、参加者への検温および手指消毒の実施 ・検温を完了した来場者への検温確認ステッカーの配布 上記の取組み徹底を参加者へ周知することで安心感を与え、需要を喚起することで、当該エリアへの集客の向上、販路開拓を促進させる。		
	人材交流型			
	○ 販路開拓型			
	ハズカ型			
	独自提案型			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携	<input type="checkbox"/> (b) 広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c) 市町村連携	<input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果
枚方市観光にぎわい部も五六市実行委員会に所属し、道路占用許可の申請等について協力されている。五六市への出展機会の喪失にならないように新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き枚方市観光にぎわい部と連携を図っていく。				



事業名		地元の魅力を再発見！枚方宿名物イベント再活性化事業	新規/継続	新規
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで	一複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	京阪電車枚方市駅から枚方公園駅の枚方宿歴史街道において、地元の商工業者を中心に枚方市、金融機関等にて実行委員会を組織し、「枚方宿五六市」というこだわりの商品を集めた手作り市を平成19年3月より毎月第2日曜日に開催している。新型コロナウイルス感染症流行以前は、約200店舗が出店し、最大で2万人の来場者がある市内外からの知名度の高いイベントであった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月より開催を見合わせていた。10月より感染症対策を行った上で開催しているが、対策上、通常時の半数の約100店舗での出店を余儀なくされている。出店希望者が多く、出店数を従来の200店舗に回復させたいと考えているが、出店者および来場者への感染症防止対策の徹底が求められているため、出店者のコスト増加が課題となっている。 そこで当所として、大阪府で制定された「感染拡大防止に向けた取組み」に基づき、①イベントの開催における感染症防止対策のPR、②出店支援および出店者への感染症対策および販路開拓支援を実施することで、早期での出店者の収益性の回復を図り、ひいては、同地域の再活性化を図りたい。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	同イベントへの出店を希望している大阪府内の事業者		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	出店者に対する新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められており、出店コストが増加している。新型コロナウイルス感染症に対応するための、具体的な対策の支援を行うことは、事業者が求めていることであるため、ニーズが高いと考えられる。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値			
	反省点			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○印をいつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	令和3年1月～3月の3ヶ月間の計3回、事業者の出店支援と新型コロナウイルス対策支援を行う。 ●五六市実施スケジュール（毎月第2日曜日の10：00～16：00） ●開催場所 京阪電車枚方市駅～枚方公園駅間の歴史街道沿い ●支援出店者数（実行委員会よりエリア指定） 令和3年 1月10日（日）27店舗 2月14日（日）27店舗 3月14日（日）26店舗  ●具体的な手法 ①五六市のコンセプトに適合した出店者を実行委員会と協議の上、選定。 ②新型コロナウイルス感染症対策について、出店者へ事前告知を実施。 ③事業者に対して出店支援を実施。 ・効果的なブースのレイアウトや商品配置の支援 ・当該エリアへ集客するための来場者への商品のPRなど呼びかけ ・必要に応じて、価格設定方法や在庫管理についても支援 ④当日のコロナウイルス感染症対策を実施。 ・大阪コロナ追跡システムの登録の推進 ・指定エリア内にて、参加者への検温および手指消毒の実施 ・検温を完了した来場者への検温確認ステッカーの配布 上記の取組み徹底を参加者へ周知することで安心感を与え、需要を喚起することで、当該エリアへの集客の向上、販路開拓を促進させる。		
	人材交流型			
	○ 販路開拓型			
	ハズカ型			
	独自提案型			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携	<input type="checkbox"/> (b) 広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c) 市町村連携	<input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果
枚方市観光にぎわい部も五六市実行委員会に所属し、道路占用許可の申請等について協力されている。五六市への出展機会の喪失にならないように新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き枚方市観光にぎわい部と連携を図っていく。				

事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒ 80 社	実行委員会と対象エリアについて協議の上、毎月「北大阪商工会議所新型コロナウイルス防止対策モデル対象エリア」として支援することで確約をもらっている。				
	支援対象企業の変化	新型コロナウイルス感染症対策についてPRすることで来場者に安心感を与え、需要を喚起する。当該エリアへの集客の向上、販路開拓を促進させる。					
	指標	新型コロナウイルス感染症対策を講じたことにより、集客が増加したと回答した事業者数	数値目標	64社			
その他目標値							
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	50,500 円 ×	0	×	1.00 =	0 円
			50,500 円 ×	0	×	1.00 =	0 円
			50,500 円 ×	0	×	1.00 =	0 円
			円 ×		×	=	0 円
			円 ×		×	=	0 円
						(小計)	0 円
						※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%)	0 円
					計	0 円	
独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等				
	②受益者負担	0 円	負担金の積算				
	<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果			
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
	0 円 ×	0.50 =	0 円	( 0 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核 団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割 (配分の考え方)			
	○	北大阪商工会議所	0 円				
			円				
			円				
			円				

【備考】  
 コロナパッケージ⑦「地域商工業の需要を喚起するための事業」  
 理由  
 新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、事業を中止。

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

北大阪商工会議所

事業名

地元の魅力を再発見！枚方宿名物イベント再活性化事業

計画に対する  
実績（数値）

支援企業  
数(計画)

80

支援企業  
数(実績)

支援  
実績率

【参考】  
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業（イベント）が開催されない予定。。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】

当事業にかかった経費

北大阪商工会議所 〇円